

山口鈴子 米寿記念 ソプラノリサイタル



2023.11/4 ㈯ 14:00開演
(13:30開場)

電気文化会館 ザ コンサートホール
全自由席 1,000円(税込)

バリトン 奥村 晃平(特別出演)
ピアノ 奥村 那月

米寿記念リサイタルおめでとうございます。
山口鈴子さんは志が強く、歌が大好きで常に
向き合う、熱意と努力の塊の人だと思う。
8年前の傘寿記念リサイタル以降も歌を愛し、
ベルカント唱法の技術を学び、努力されている。
その誠実さは敬意(リスペクト)に価される方だと
感じます。そんな音楽人生に乾杯!
娘とも共演させていただき、感謝申し上げます。

奥村 晃平



PROGRAM

越谷達之助:初恋

山田耕筰:からたちの花

多忠亮:宵待草

滝廉太郎:秋の月

小林秀雄:写楽 ※奥村晃平

ロッシーニ:踊り ※奥村晃平

ヘンデル:私を泣かせたまえ

ヴェルディ:オペラ「リゴレット」より
リゴレットのアリア<悪魔め、鬼め>
※奥村晃平

プッチーニ:オペラ「ジャンニ・スキッキ」より
ラウレッタのアリア<わたしのお父さん>

ロッシーニ:オペラ「セヴィリアの理髪師」より
ロジーナのアリア<今の歌声> 他

PROFILE



山口 鈴子

ソプラノ

1936年生まれ 88歳

70歳まで夫の経営する税理士事務所にて税理士業務補助として勤務。退職直後に顔面神経麻痺を患いリハビリの為に大好きな声楽を始める。
学生の頃は名古屋音楽学校にて松井辰三郎先生に師事、以後幸木みか先生・奥村晃平先生に師事、現在に至る。



奥村 晃平／バリトン

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院音楽研究科（声楽専攻）修了（石津憲一氏に師事）。同大学大学院オペラ科研修生修了。ウィーンに留学。ウィーン国立音楽大学リート科卒業（ヴェルバ氏に師事）。同大学特別生修了（ハンス・ホッター氏に師事）。ウィーン・シェーンブルン歌劇場「フィガロの結婚」の伯爵役、ブラームスザールにて出演（日本大使館主催）、イタリアのモデナ、ローマにてベルカント唱法を学ぶ（アリーゴ・ポーラ、ゴンザーガ、レンダ、ヴァレンティーニの各氏に師事）。平成13年度、東海地方を代表するバリトン歌手として高く評価され、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞する。日本歌曲コンクール声楽部門第2位、ウィーンでの声楽コンクール第2位、イタリア声楽コンコルソ入選。

オペラ「魔笛」「ドン・ジョバンニ」「宗春」「ちゃんちき」等多数のタイトルロールを演じ、ローマ・マルチエロ野外劇場、あいちトリエンナーレ、名古屋市民芸術祭等のリサイタルは30回以上に及び、音楽現代誌にて「楽しめる舞台と歌を作り上げる貴重な歌手、秀逸な歌手」との評価を得る。

シーベルト「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」日本歌曲「まほろばの響き」のCDはレコード芸術誌にて高い評価を得ている。

愛知県立芸術大学、名古屋音楽大学にて後進の指導を経て、現在、名古屋音楽学校にてベルカント唱法を指導する。名古屋二期会名誉理事長。名古屋音楽学校特別講師、日本演奏連盟会員。新波の会日本歌曲振興会会員。



奥村 那月／ピアノ

1979年～1981年の3年間、父・奥村晃平とウィーンにて過ごす。

6歳よりピアノを始める。名古屋市菊里高等学校音楽科卒業。愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。在学中、愛知県立芸術大学・大学院オペラ研究、重唱等の学生ピアノ助手を務める。2000年よりピッコロオペラのピアニストを務め、「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」「アメリカ舞踏会へ行く」等多数の演目を演奏する。また、声楽を中心に合唱、弦楽器の伴奏者として、各種のコンサートに多数出演する。

逢阪由木帆、佐野翠、定行和子、水本雄三の各氏に師事。

会場のご案内

ザ コンサートホール 名古屋・伏見・電気文化会館

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」4番出口徒歩2分
〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目2番5号
TEL 052(204)1133

